

平成26年度

宮城県小・中・高等学校

体力・運動能力調査報告書

- 子どもたち一人一人の体力向上にむけて -



平成27年3月

宮 城 県 教 育 委 員 会

はじめに

各学校及び各関係機関の皆様におかれましては、震災後、未だ運動環境に制限のある中でも、児童生徒の体力・運動能力向上のために様々な取組を実施いただいていることに感謝申し上げます。

今後の復興を担う子どもたちにとって、学力の向上、豊かな人間性の育成と併せて、意欲や気力といった生きる力の源になる体力の向上が一層求められているところです。

そのような中で、本県では、昭和39年度から体力・運動能力調査を実施し、平成18年度からは全児童生徒を対象とした調査を実施しており、毎年その結果を分析した報告書を作成・配布しているところです。

県内の児童生徒の体力・運動能力の中長期的な傾向としては、低下傾向から横ばい傾向に推移しており、一定の歯止めがかかりつつあることが窺え、各学校での取組が確実に成果を上げているものと考えております。

しかし、震災前の平成22年度と今年度との結果比較では、中・高校生においては、向上した種目が多く見られましたが、小学生においては横ばいや、低下した種目が多い状況であることから、依然として課題があり、その対策が必要であると捉えております。

県教育委員会では、特に対策が必要な小学校において、来年度も継続してweb上での長なわ跳び大会を実施し、日頃からの運動習慣の確立を目指してまいります。また、各学校において、自校の現状と課題を明確にし、具体的な目標を設定の上、体力・運動能力向上に向けた確実な取組を実施するよう、平成27年度の「成果報告様式」を、これまでよりもPDCAサイクルを明確にした報告様式に変更するなど、一層の体力向上策に取り組んでまいります。

各関係機関や学校におかれましては、今後も当報告書を有効に御活用いただくとともに、各地域やそれぞれの学校の特色を活かした体力・運動能力向上のさらなる取組の実践を進めていただくようお願いいたします。

なお、詳細の数値データは下記の宮城県教育委員会スポーツ健康課のホームページに掲載しております。

結びになりますが、当調査の分析業務を担当していただきました宮城教育大学教育学部前田順一教授をはじめ保健体育講座の方々に心から感謝申し上げますとともに、生涯を通じて健康で活力ある生活が送れるよう、本県の子どもの体力・運動能力が向上することを願って挨拶いたします。

(※ 宮城県教育委員会スポーツ健康課 URL:<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/supoken/>)

平成27年3月

宮城県教育庁スポーツ健康課
課長 松坂 孝

目 次

ページ

I 短期的（震災前, 前年度）比較について

- 1 校種別の平成26年度と平成22年度（震災前）との結果比較・・・1
- 2 校種別の平成26年度と平成25年度（前年度）との結果比較・・・2
- 3 校種別, 測定項目別の4ヵ年の経年結果比較・・・3
- 4 平成26年度と平成22年度（震災前）の管内毎〔抜粋（沿岸部の例）〕における結果比較・・・8

II 中長期的結果比較について

- 1 宮城県全体及び教育事務所・地域事務所 管内別 中期経年変化（H15～H26年度 小5・中2男女）
 - (1) 宮城県全体・・・15
 - (2) 大河原教育事務所管内・・・16
 - (3) 仙台教育事務所管内・・・17
 - (4) 北部教育事務所管内・・・18
 - (5) 栗原地域事務所管内・・・19
 - (6) 東部教育事務所管内・・・20
 - (7) 登米地域事務所管内・・・21
 - (8) 南三陸教育事務所管内・・・22
 - (9) 仙台市教育委員会・・・23
- 2 長期経年変化（S39年度～H26年度）〔50m走：小5・中2・高2〕・・・24

III 調査結果から見えてきた主な課題と対策

- 1 宮城県調査結果から見えてきた主な課題及び対策と懸案事項・・・25
- 2 宮城県調査結果からの課題解決に向けた平成27年度における県教育委員会の取組・・・26

IV 〔参考〕

「平成26年度全国体力・運動能力, 運動習慣等調査（宮城県分）」について

- 1 調査概要・・・27
- 2 結果概要・・・27
- 3 「学校での体育・健康に関する指導の改善で特に参考とされることが望まれる5事項」（宮城県分）・・・31
- 4 全国調査結果から見えてきた主な課題及び対策・・・32

V 学校別事例紹介

- 1 体力・運動能力向上に向けた取組事例の紹介と活用・・・33
- 2 小学校の取組事例・・・34
- 3 中学校の取組事例・・・41
- 4 高等学校の取組事例・・・48

I 短期的（震災前，前年度） 比較について



平成26年度宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査結果の概要

1 校種別の平成26年度と平成22年度（震災前）との結果比較

平成26年度の体力・運動能力調査の結果と平成22年度（震災前）の結果から、東日本大震災による被災が、本県の小・中・高校生体力・運動能力に影響を与えているかどうかについて検討するため、校種別、測定項目別に比較している。

区 分	分	握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび		20m シャトルラン		持久走		50m 走		立ち幅とび		ボール投げ	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
小 学 校	1	—	—		—	—		+	+	+	+						+	—	—
	2	—		+				+	+	+	+				—	—	+	—	—
	3	—	—			—	+									—	+	—	—
	4		—		+	—	+				+					—	+	—	—
	5	—	—	+	+	—	+		+		+				+	—	+	—	—
	6	—	—		+	—	+	+								—	—	—	—
中 学 校	1	—	—	+	+	—	+	+	+		+			—			+	—	—
	2	—	—	+	+	—	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	—	+	—
	3	—	—	+	+	—	+		+		+	+	+	+	+			—	—
高 等 学 校	1	—		+	+		+	+	+		+		+	+	+	+	—		—
	2	—		+	+		+	+	+		+		+	+	+	+	—	+	—
	3	—			+		+	+	+		+	+	+	+	+	+	—		+

【表の記号について】

- ・ **+** は明らかに向上した測定項目である。
- ・ **—** は明らかに低下した測定項目である。
- ・ 空欄は、有意な差はみられない測定項目である。

【「1」結果概要】（ ）は前年の割合

	低下種目の割合	維持種目の割合	向上種目の割合	低下が見られる種目	向上が見られる種目
小学校	36.5% (37.5%)	35.4% (32.3%)	28.1% (30.2%)	・握力 ・ボール投げ	・反復横とび ・20mシャトルラン
中学校	31.5% (40.7%)	16.6% (29.7%)	51.9% (29.6%)	・握力 ・ボール投げ	・上体起こし ・反復横とび ・20mシャトルラン ・50m走
高等学校	16.7% (29.6%)	29.6% (38.8%)	53.7% (31.5%)	・握力 ・ボール投げ ・立ち幅とび	・上体起こし ・反復横とび ・50m走
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・向上種目の割合よりも低下種目の割合が高くなっている。 ・握力、ボール投げはほとんどの学年で低下している。 ・長座体前屈、立ち幅とびは多くの学年の男子で低下している。 				
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・低下種目の割合よりも向上種目の割合が高くなっている。 ・握力、ボール投げは全学年男女で低下している。 ・上体起こし、反復横とびは向上している学年が多い。 				
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・低下種目の割合よりも向上種目の割合が高くなっている。 ・握力、立ち幅とびは全学年男子で低下している。 ・反復横とび、50m走は全学年男女で向上している。 				

2 校種別の平成26年度と平成25年度（前年度）との結果比較

平成26年度の体力・運動能力調査の結果と平成25年度（前年度）の結果を、東日本大震災以降の経年的な変化をみるため、校種別、測定項目別に比較している。

区 分		握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび		20m シャトルラン		持久走		50m 走		立ち幅とび		ボール投げ	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
小学校	1			+					+					+	+	+	+		
	2	+													-	+			-
	3			-			+		+	-	-				-		+		
	4	+												+		+			-
	5				+				+		+				+		+	-	+
	6			+										+				-	-
中学校	1	-			+				+	+	+	+	-	+		+	-		
	2	-			-			+	+	+	+	+				+	-	-	
	3	-			+				+	+	+		+		+	+			
高等学校	1							-		+	+	+	+		+		+		-
	2	-			+			-	+	+	+		+		+	+	+		
	3			-		-	+	-	+		+	+					-		-

【表の記号について】

- ・ **+** は明らかに向上した測定項目である。
- ・ **-** は明らかに低下した測定項目である。
- ・ 空欄は、有意な差はみられない測定項目である。

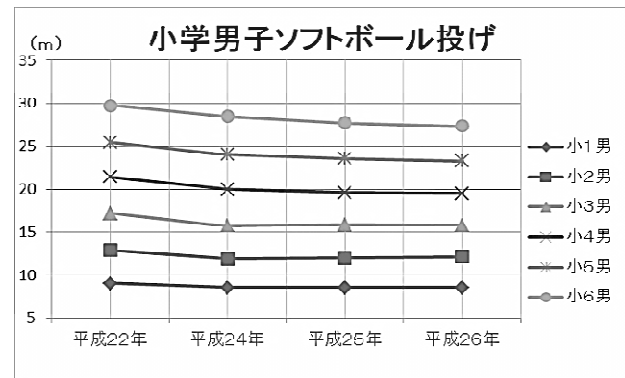
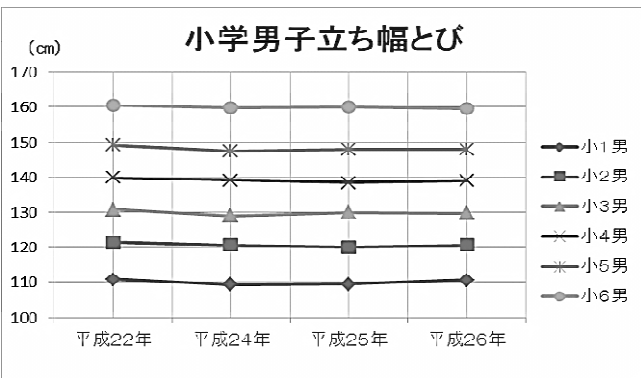
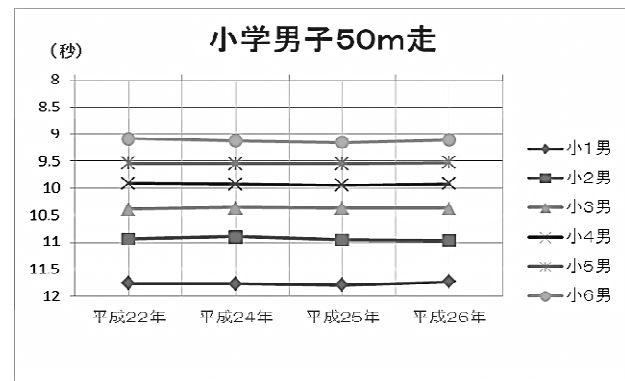
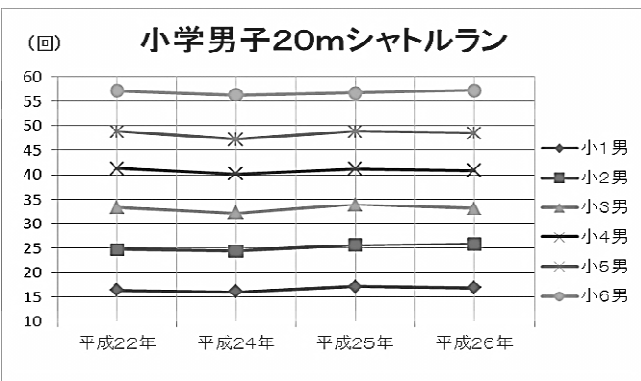
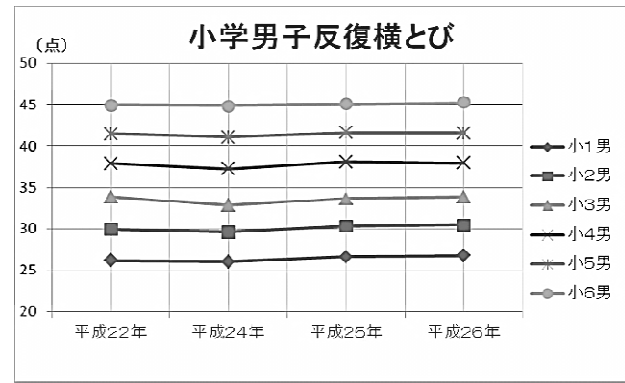
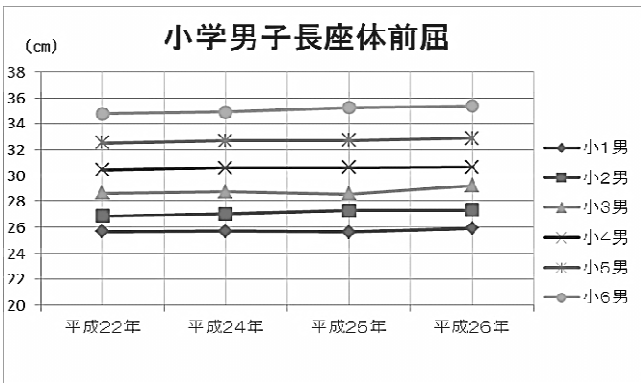
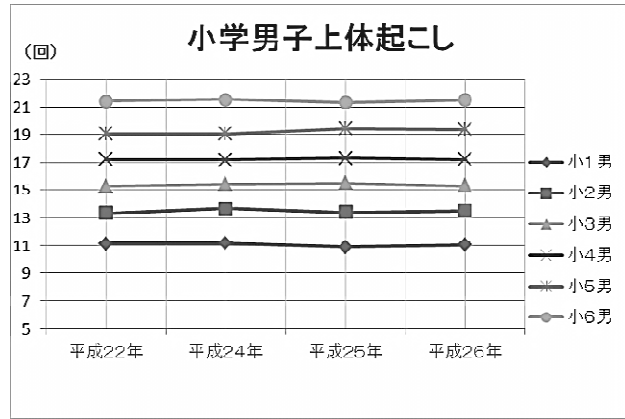
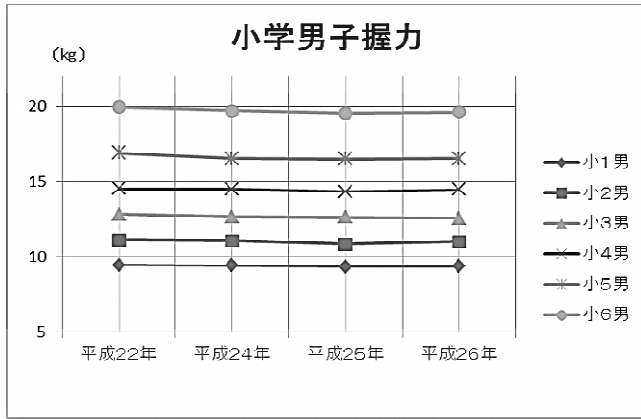
【「2」結果概要】（ ）は前年の割合

	低下種目の割合	維持種目の割合	向上種目の割合	低下が見られる種目	向上が見られる種目
小学校	11.5% (27.1%)	65.6% (39.6%)	22.9% (33.3%)	・ボール投げ	・50m走 ・立ち幅とび
中学校	14.8% (40.7%)	48.2% (42.6%)	37.0% (16.7%)	・握力 ・ボール投げ	・反復横とび ・20mシャトルラン ・立ち幅とび
高等学校	16.7% (53.7%)	50.0% (37.0%)	33.3% (9.3%)	・反復横とび	・20mシャトルラン ・立ち幅とび
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・維持種目の割合が最も高くなっている。 ・50m走、立ち幅とびは向上している学年が多い。 ・ボール投げは低下している学年が見られる。 				
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・低下種目の割合よりも向上種目の割合が高くなっている。 ・20mシャトルラン、反復横とび、立ち幅とびは向上している学年が多い。 ・握力は全ての学年男子で低下している。 				
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・低下種目の割合よりも向上種目の割合が高くなっている。 ・20mシャトルラン、立ち幅とびは向上している学年が多い。 ・反復横とびは全ての学年男子で低下している。 				

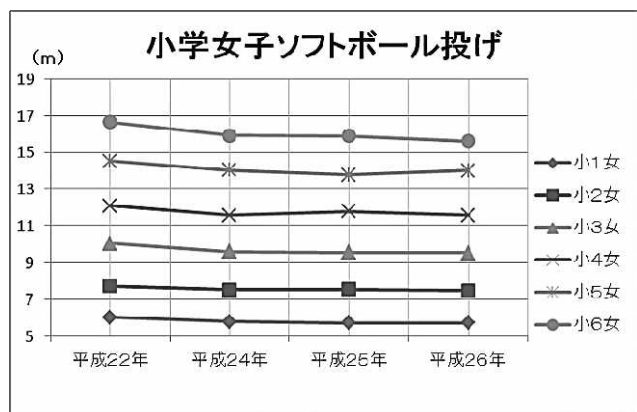
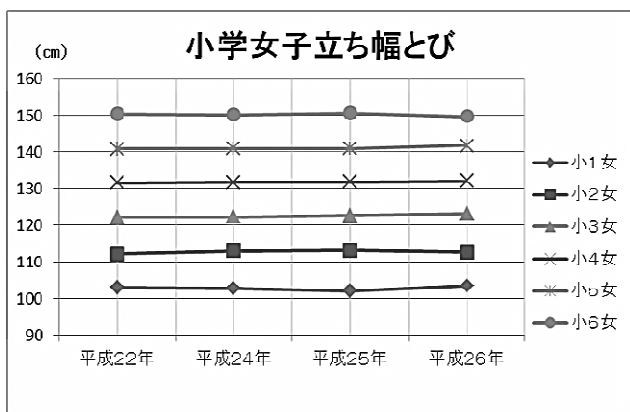
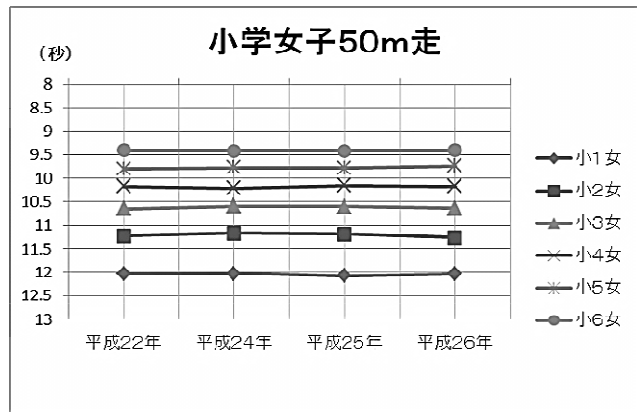
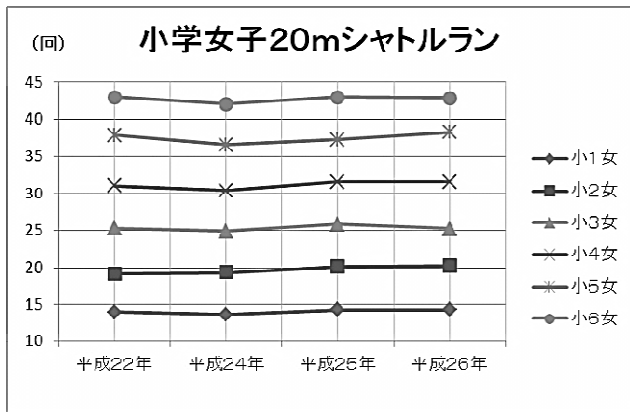
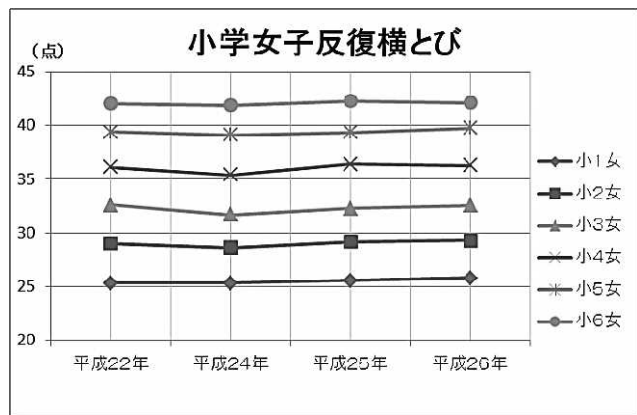
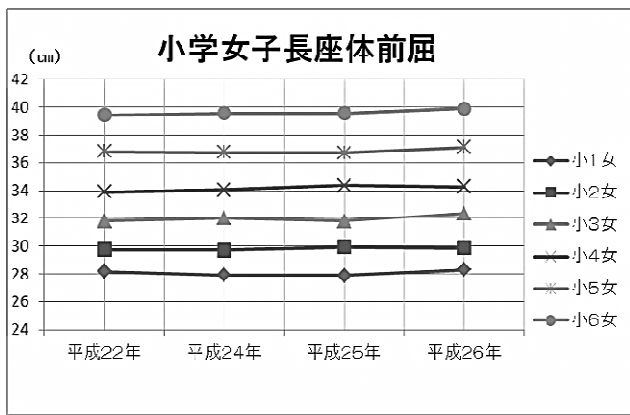
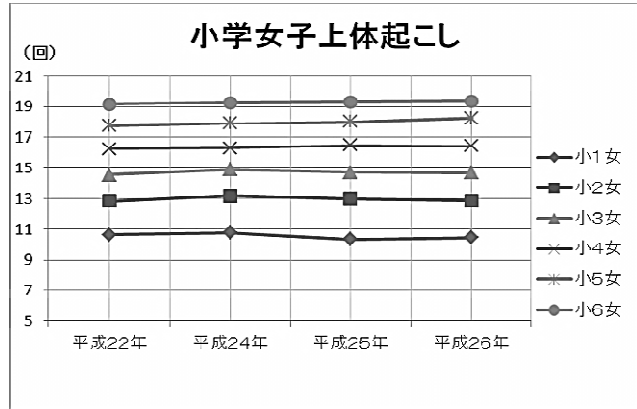
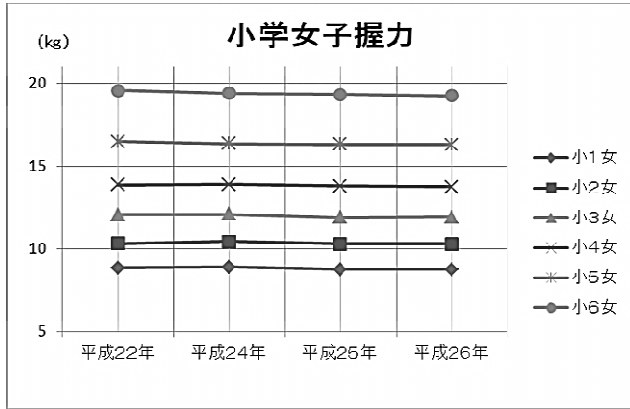
3 校種別，測定項目別の4カ年の経年結果比較

平成22年度，平成24年度，平成25年度，平成26年度の4カ年における体力・運動能力調査について，校種別，測定項目別に，比較している。

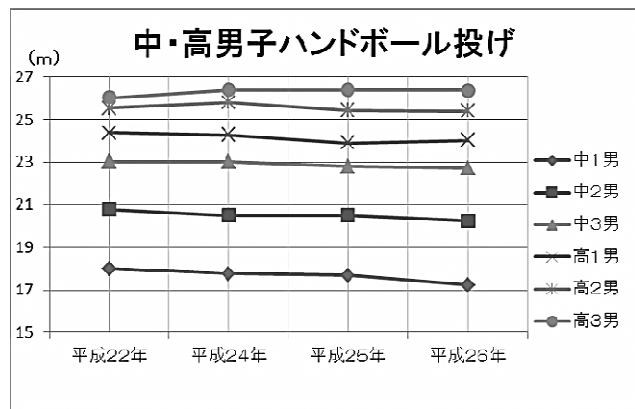
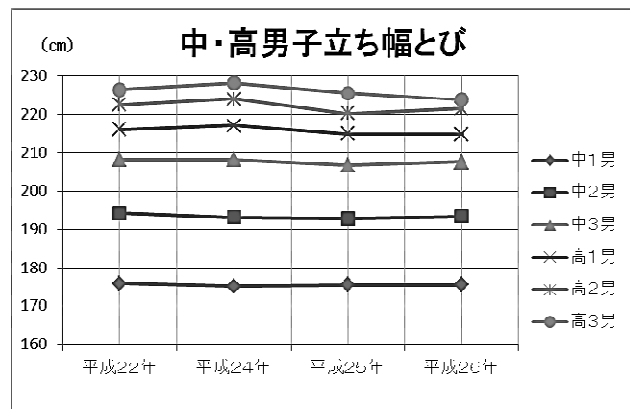
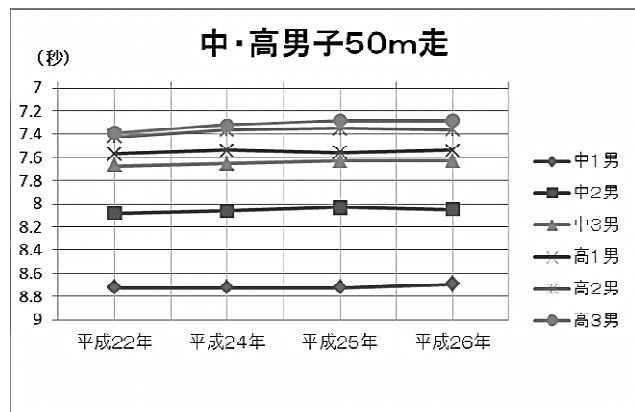
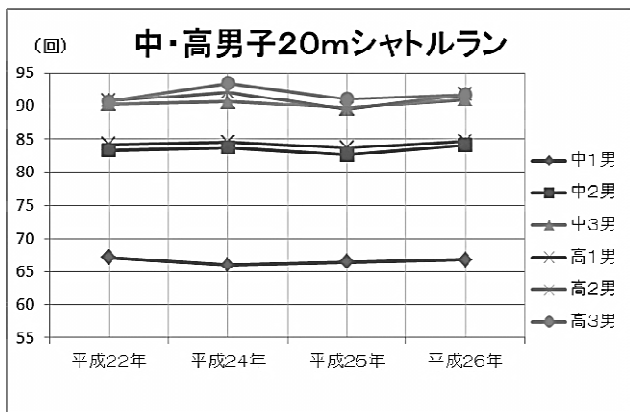
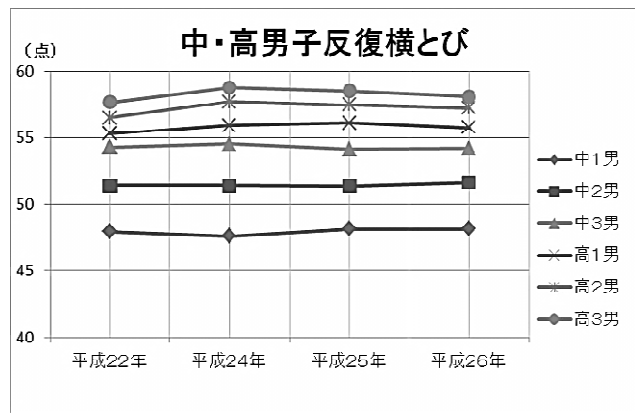
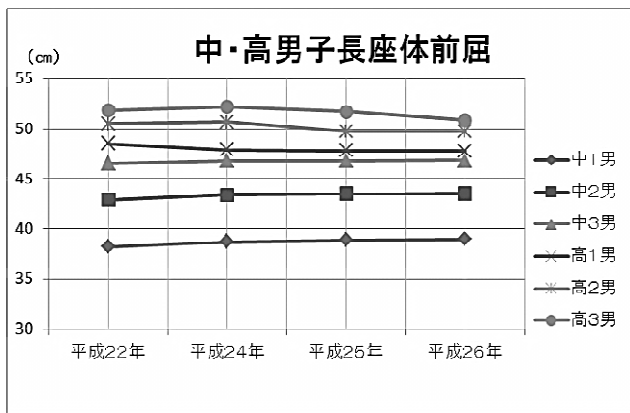
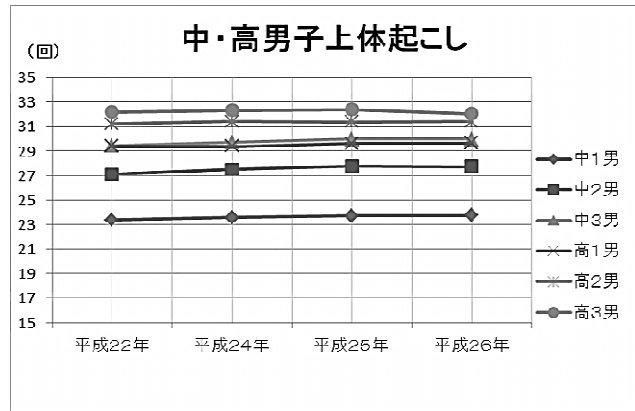
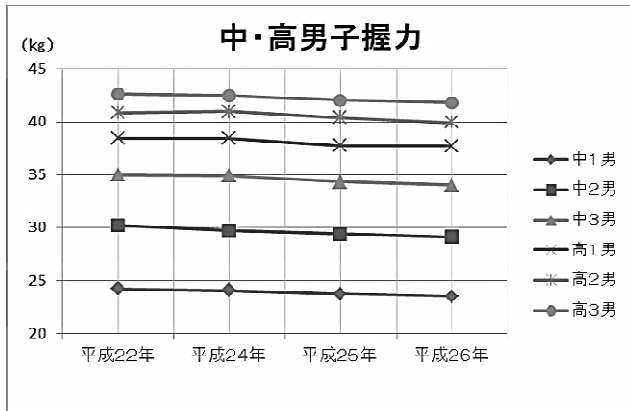
小学校男子



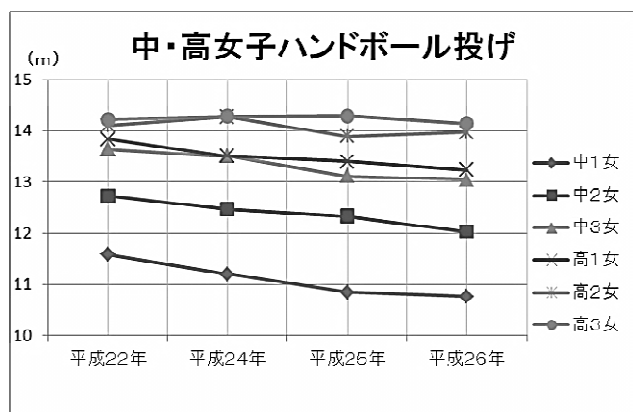
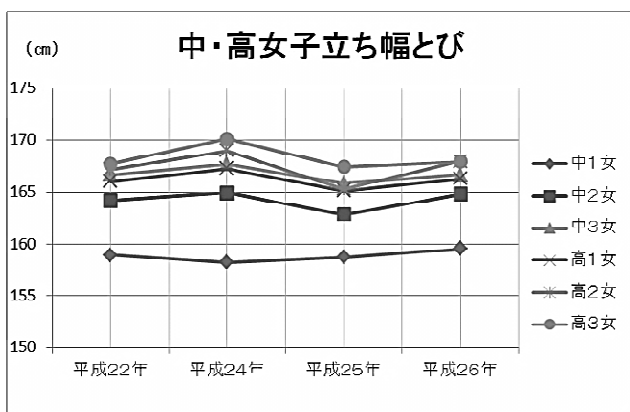
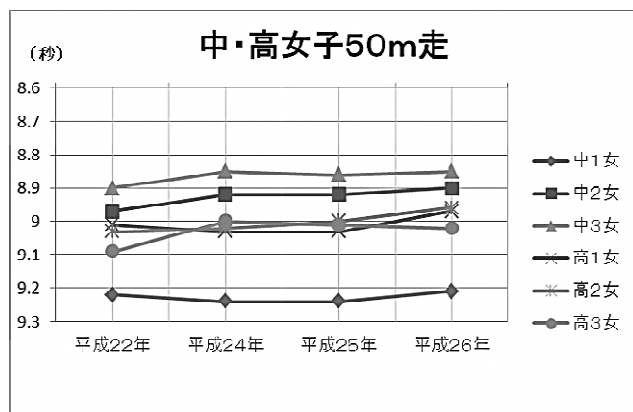
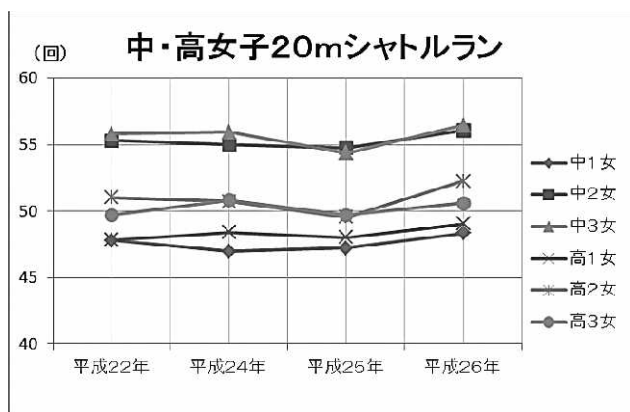
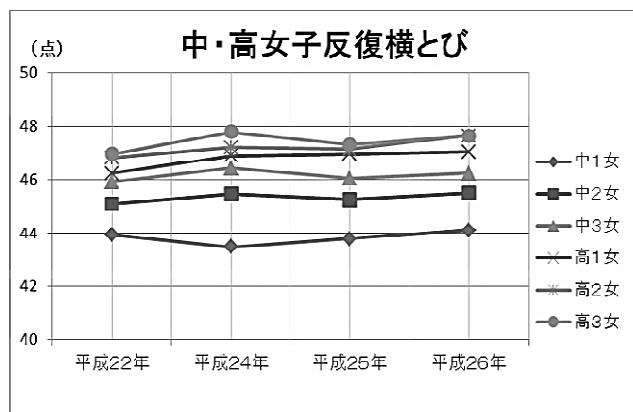
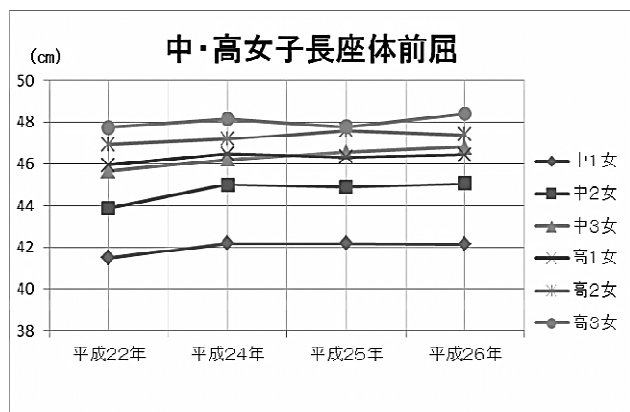
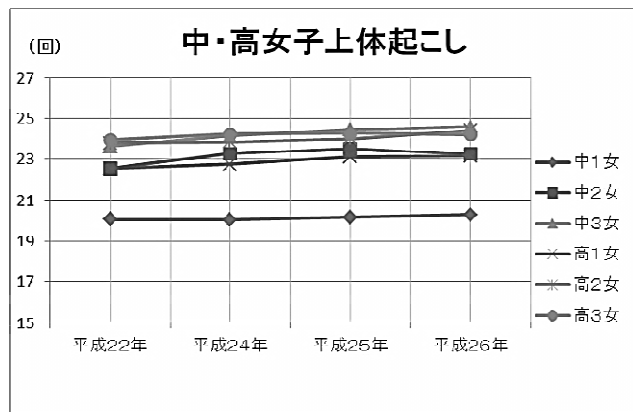
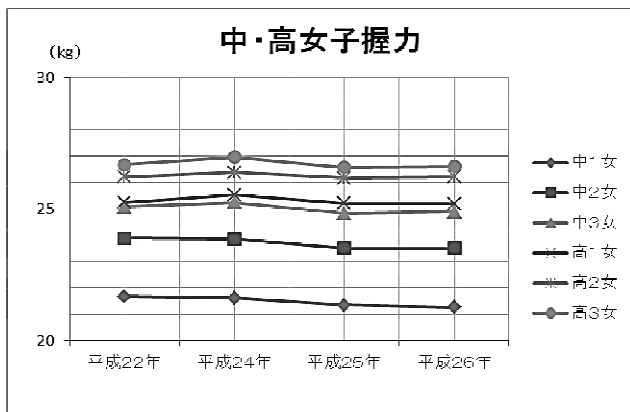
小学校女子



中・高男子



中・高女子



【「3」結果概要】

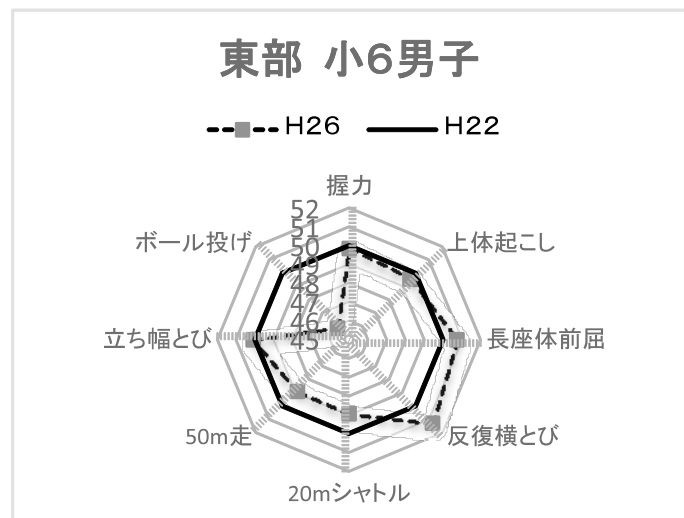
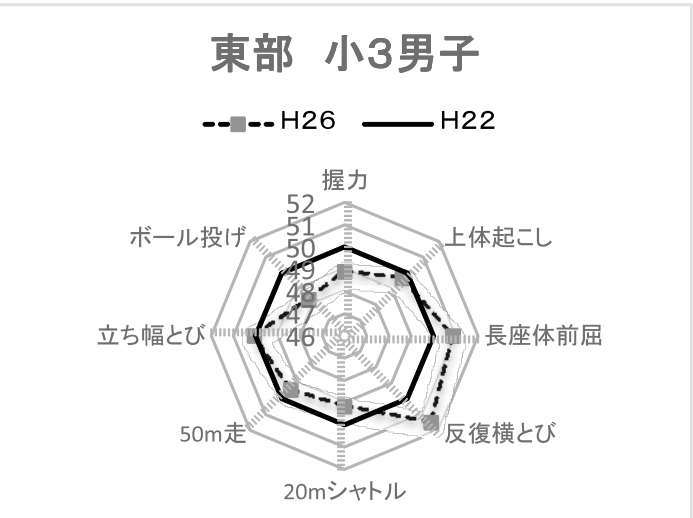
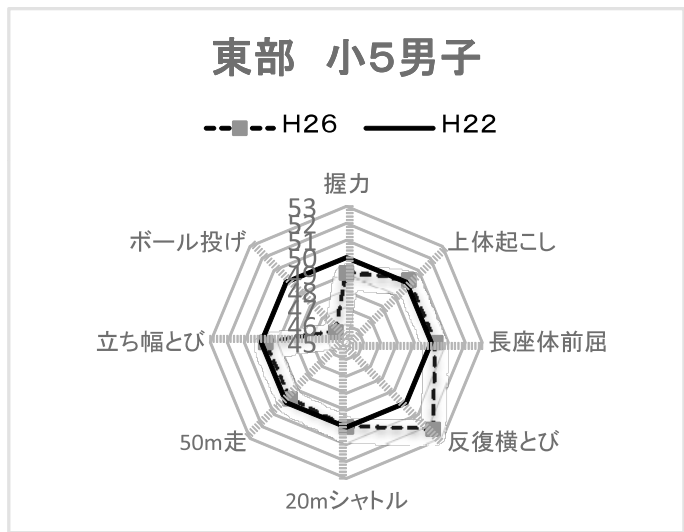
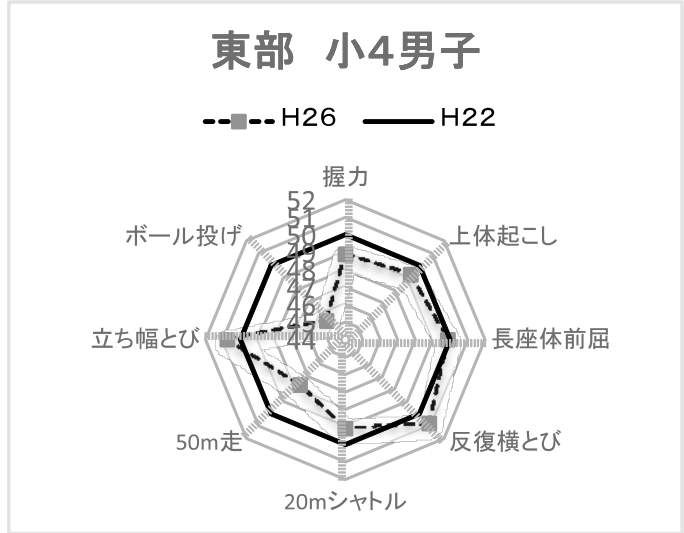
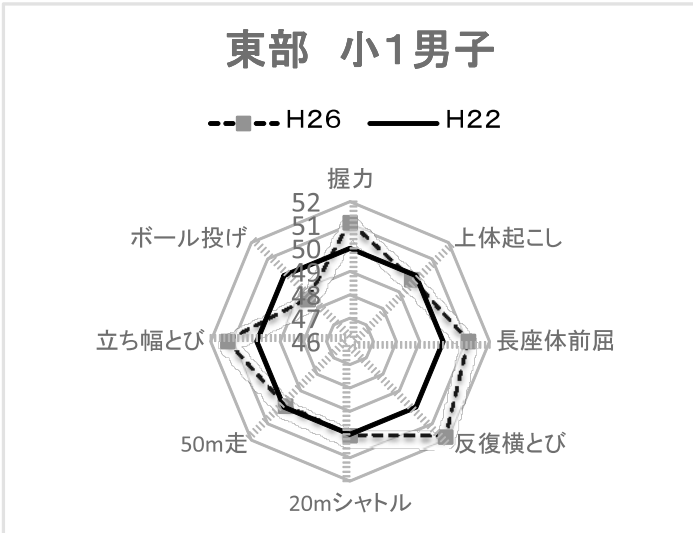
校種・性別	概 要
小学校男子	<ul style="list-style-type: none"> ・反復横とび，20mシャトルランは平成25年度以降継続して向上している学年が多い。 ・ソフトボール投げは平成22年度以降継続して低下している学年が多い。
小学校女子	<ul style="list-style-type: none"> ・反復横とび，20mシャトルランは平成25年度以降継続して向上している学年が多い。 ・ソフトボール投げは各学年とも平成22年度よりも低下している。
中学校男子	<ul style="list-style-type: none"> ・長座体前屈，上体起こし，50m走は平成22年度以降継続して向上している。 ・握力，ハンドボール投げは平成22年度以降継続して低下している。
中学校女子	<ul style="list-style-type: none"> ・反復横とび，20mシャトルラン，50m走は各学年とも平成22年度よりも向上している。 ・ハンドボール投げは平成22年以降継続して低下している。
高等学校男子	<ul style="list-style-type: none"> ・上体起こし，50m走は平成22年度以降継続して向上している学年が多い。 ・握力，長座体前屈，立ち幅とびは継続的に低下している学年が多い。
高等学校女子	<ul style="list-style-type: none"> ・反復横とび，20mシャトルラン，立ち幅とびは向上している。 ・ハンドボール投げは平成22年度よりも低下している。

4 平成26年度と平成22年度(震災前)の管内毎〔抜粋(沿岸部の例)〕における結果比較

平成22年度,平成26年度の2ヵ年における体力・運動能力調査について,特に沿岸部の状況を見るため,東部教育事務所及び南三陸教育事務所管内の校種別に,結果の推移を表すレーダーチャートのグラフにまとめた。なお,各グラフとも,平成22年度における結果を50として,平成22年度との比較による相対値で表している。

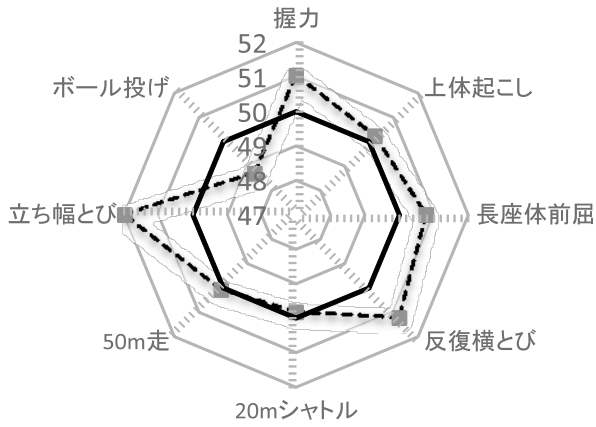
平成22年度(震災前)との比較【東部管内】

(Tスコアによる…50のラインがH22)



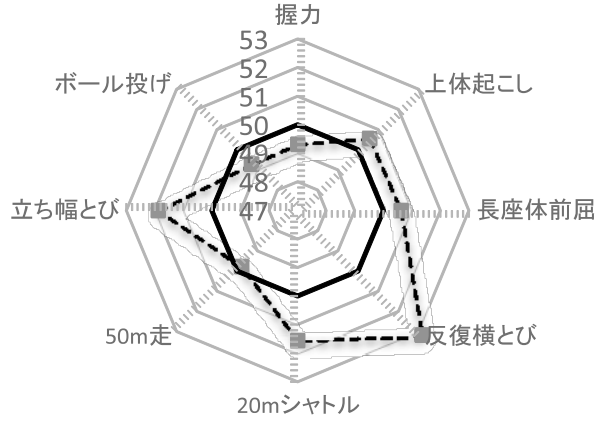
東部 小1女子

--- H26 — H22



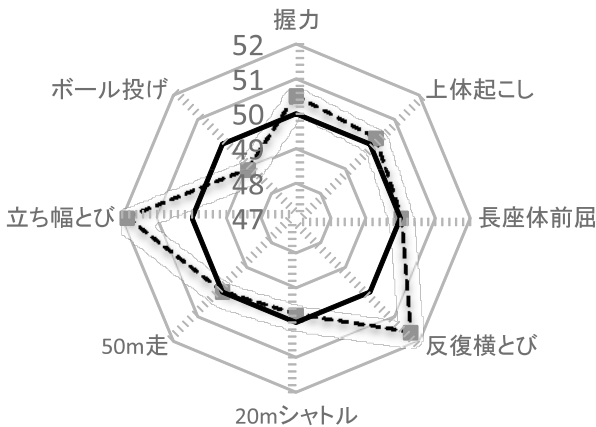
東部 小4女子

--- H26 — H22



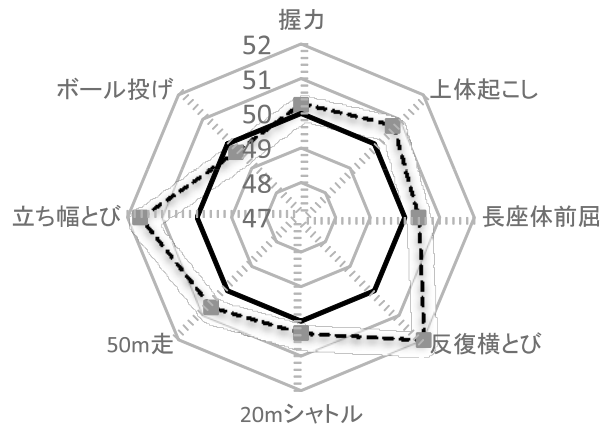
東部 小2女子

--- H26 — H22



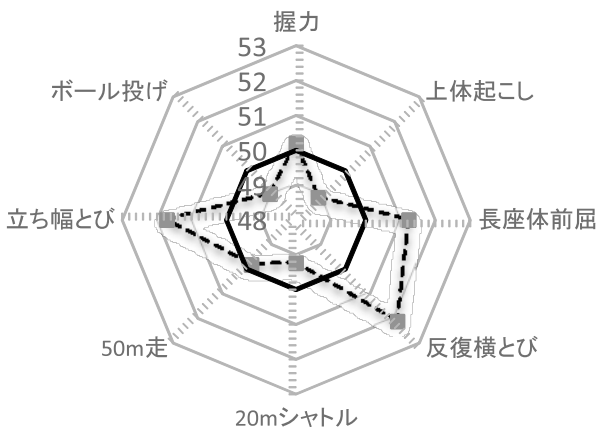
東部 小5女子

--- H26 — H22



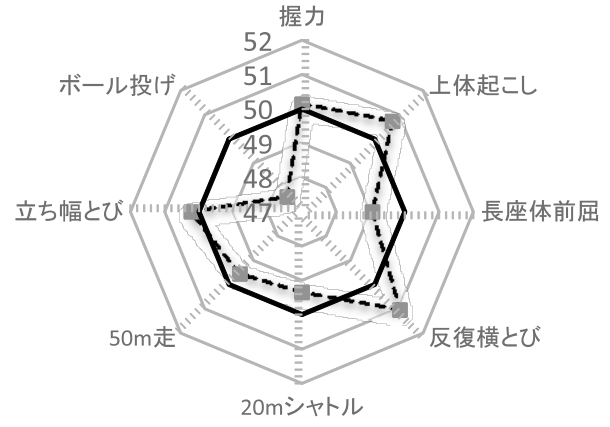
東部 小3女子

--- H26 — H22



東部 小6女子

--- H26 — H22

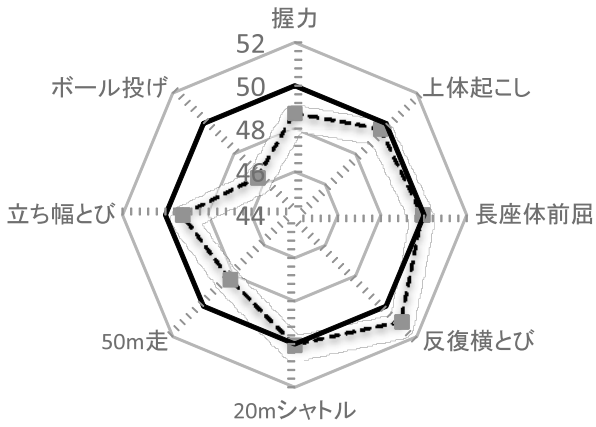


平成22年度(震災前)との比較【東部管内】

(Tスコアによる…50のラインがH22)

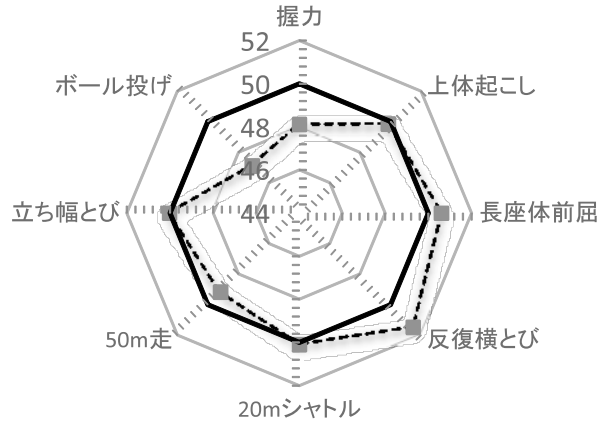
東部 中1男子

--- H26 — H22



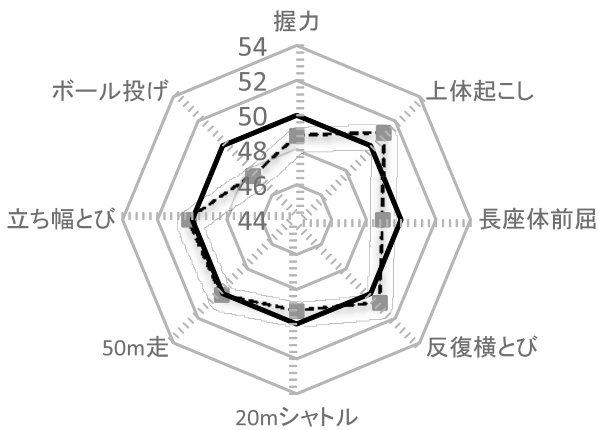
東部 中1女子

--- H26 — H22



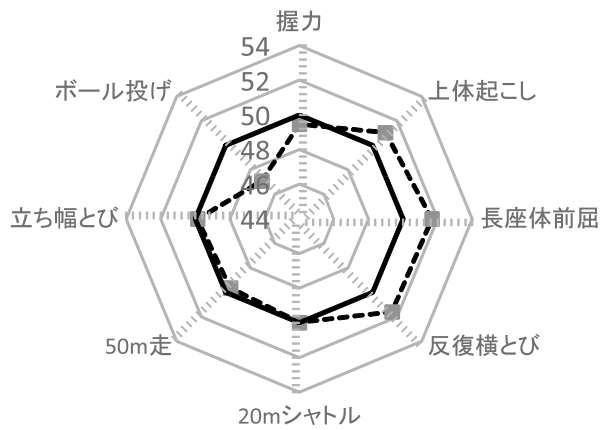
東部 中2男子

--- H26 — H22



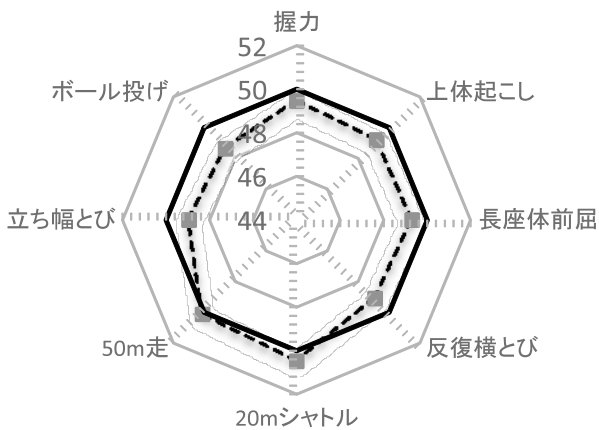
東部 中2女子

--- H26 — H22



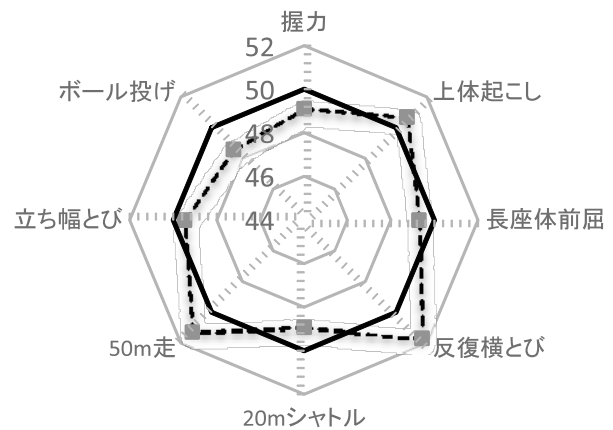
東部 中3男子

--- H26 — H22



東部 中3女子

--- H26 — H22

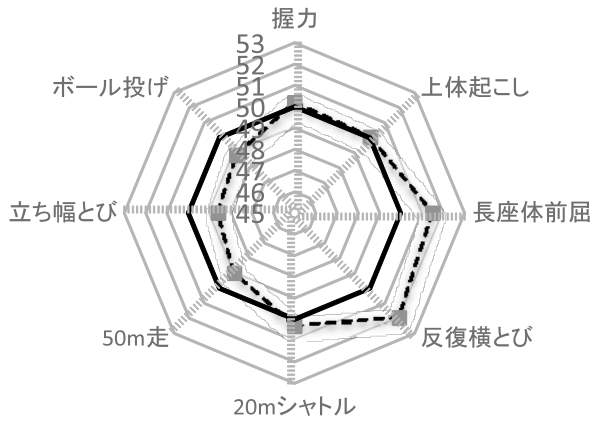


平成22年度(震災前)との比較【南三陸管内】

(Tスコアによる…50のラインがH22)

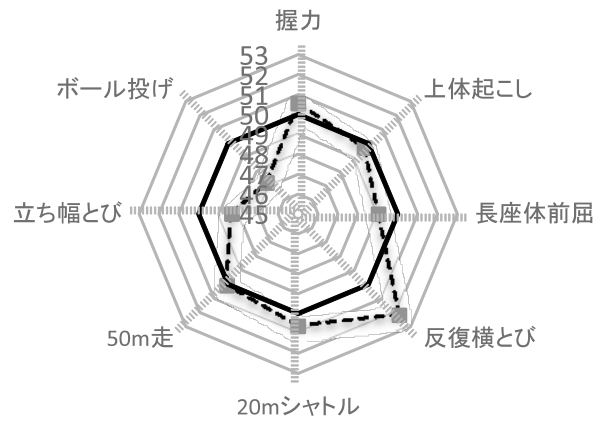
南三陸 小1男子

---■--- H26 ——— H22



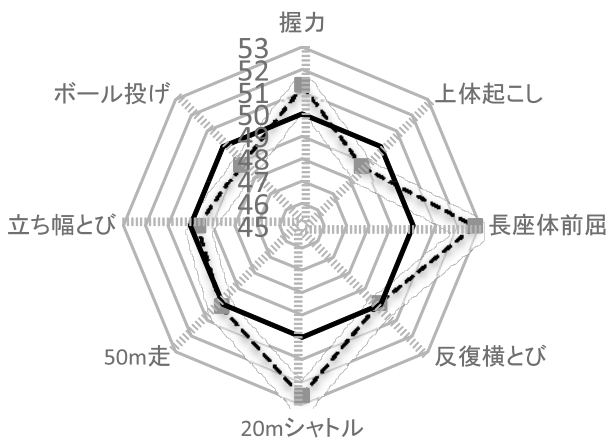
南三陸 小4男子

---■--- H26 ——— H22



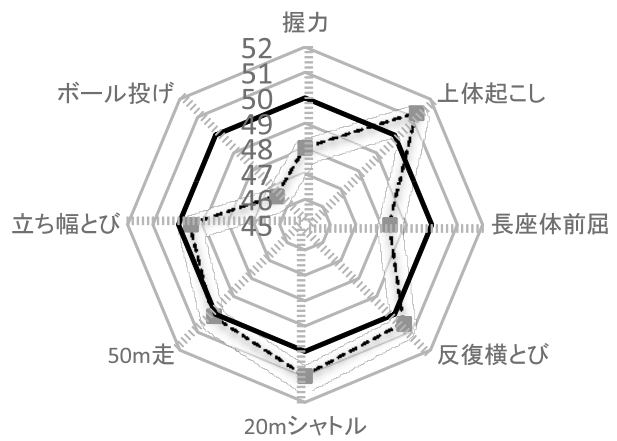
南三陸 小2男子

---■--- H26 ——— H22



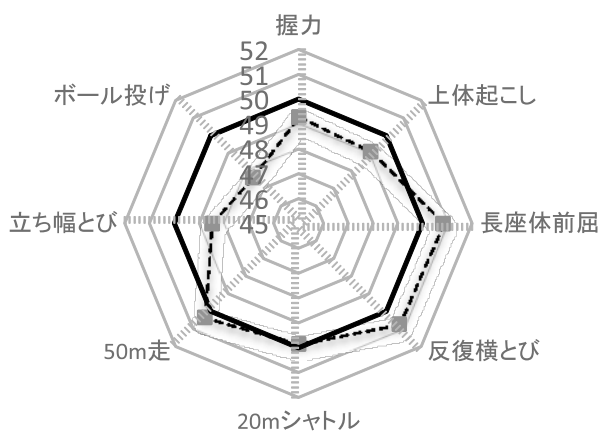
南三陸 小5男子

---■--- H26 ——— H22



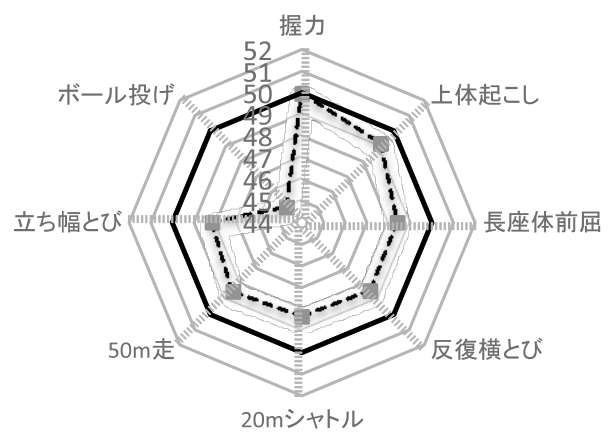
南三陸 小3男子

---■--- H26 ——— H22



南三陸 小6男子

---■--- H26 ——— H22

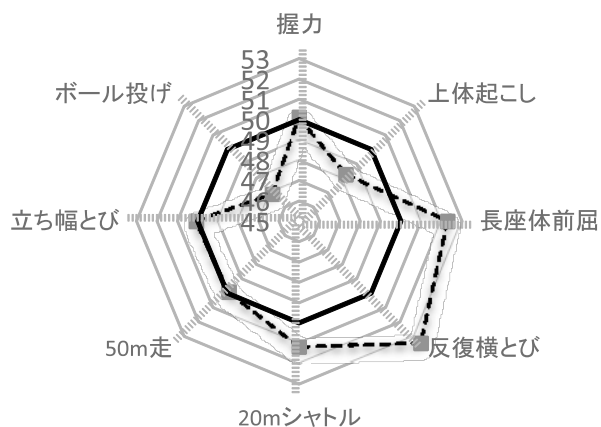


平成22年度(震災前)との比較【南三陸管内】

(Tスコアによる…50のラインがH22)

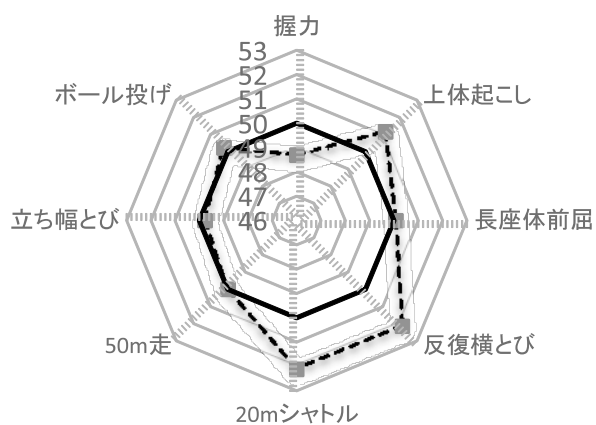
南三陸 小1女子

--- H26 — H22



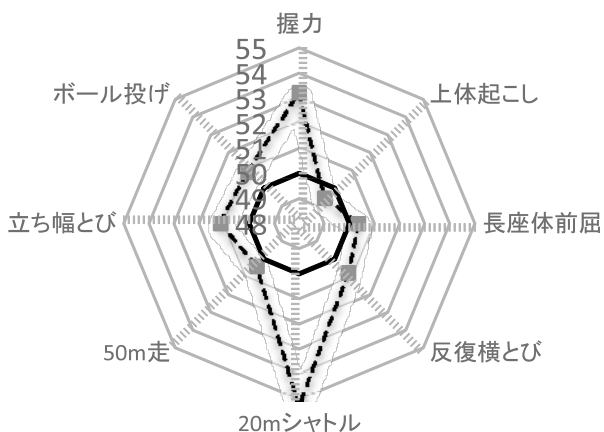
南三陸 小4女子

--- H26 — H22



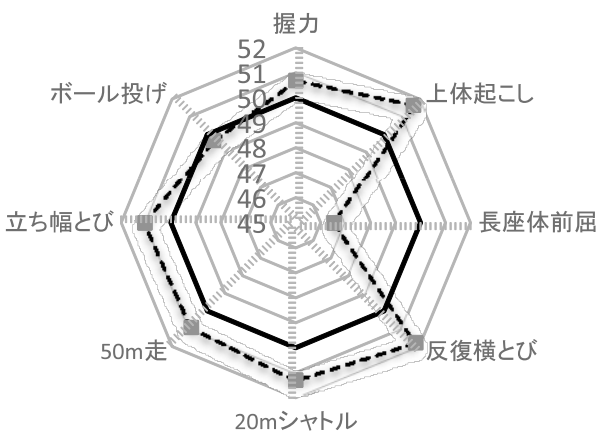
南三陸 小2女子

--- H26 — H22



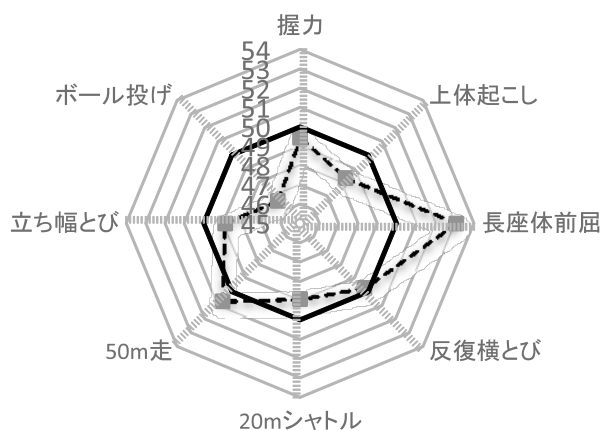
南三陸 小5女子

--- H26 — H22



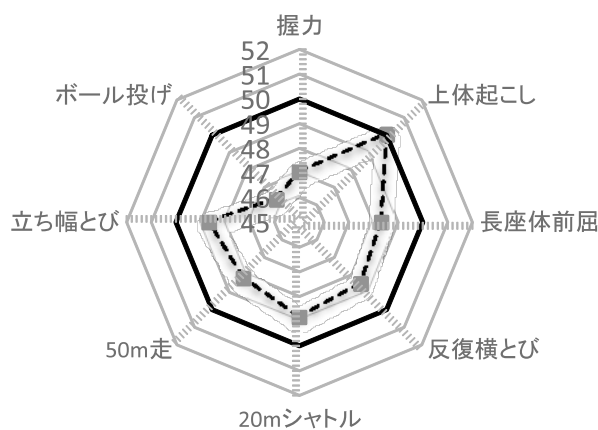
南三陸 小3女子

--- H26 — H22



南三陸 小6女子

--- H26 — H22

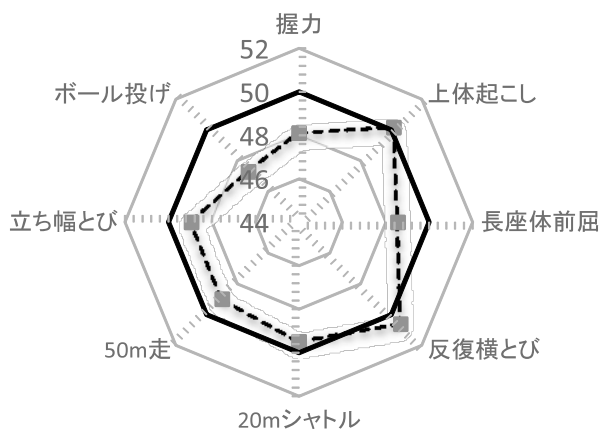


平成22年度(震災前)との比較【南三陸管内】

(Tスコアによる…50のラインがH22)

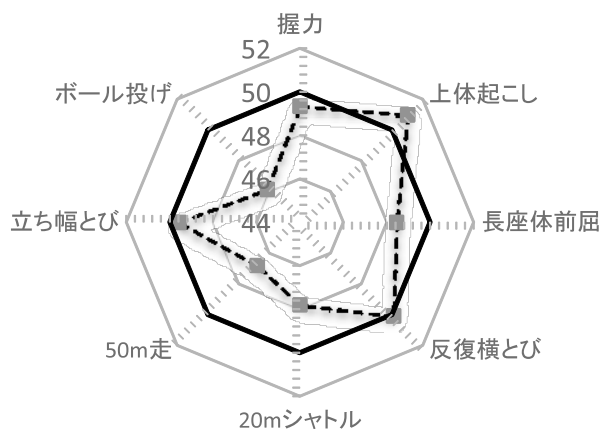
南三陸 中1男子

---■--- H26 ——— H22



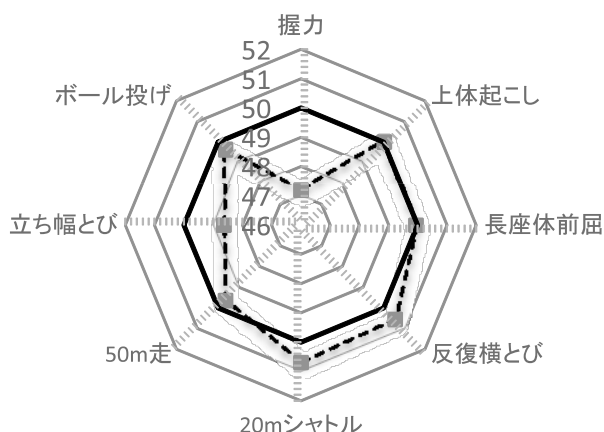
南三陸 中1女子

---■--- H26 ——— H22



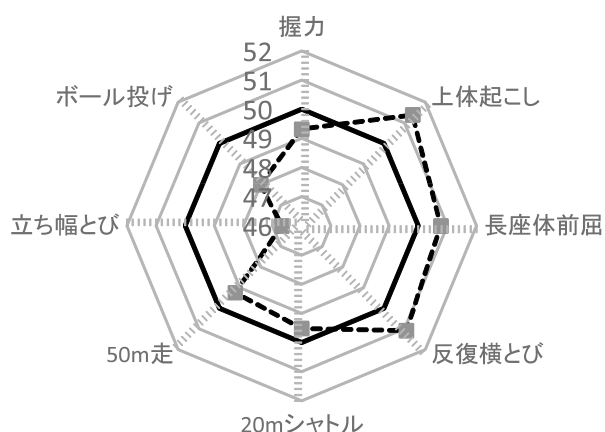
南三陸 中2男子

---■--- H26 ——— H22



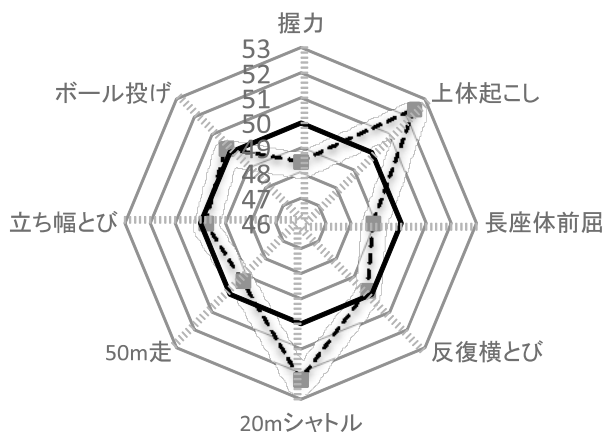
南三陸 中2女子

---■--- H26 ——— H22



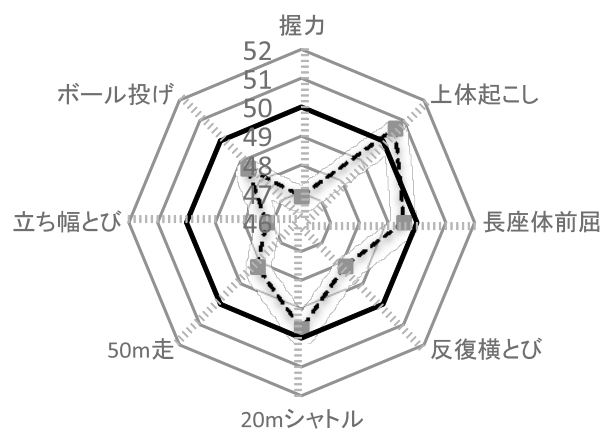
南三陸 中3男子

---■--- H26 ——— H22



南三陸 中3女子

---■--- H26 ——— H22



【「4」結果概要】

教育事務所	校種・性別	結 果
東部教育事務所	小学校男子	・立ち幅とび，長座体前屈，反復横とびは向上している学年が多い。 ・握力，ボール投げは低下している学年が多い。
	小学校女子	・立ち幅とび，長座体前屈，反復横とびは向上している学年が多い。 ・ボール投げは全ての学年で低下している。
	中学校男子	・反復横とび，20mシャトルランは向上している学年が多い。 ・握力，ボール投げは全ての学年で低下している。
	中学校女子	・上体起こし，反復横とびは向上している学年が多い。 ・握力，ボール投げは全ての学年で低下している。
	全 体	・ボール投げは小・中とも低下している。 ・反復横とびは中3男子を除き全ての学年男女で向上している。 ・校種，学年，性別によって向上したり，低下したりしている種目がある。
南三陸教育事務所	小学校男子	・反復横とび，20mシャトルランは小6を除き，全ての学年で向上している。 ・ボール投げ，立ち幅とびは全ての学年で低下している。
	小学校女子	・50m走，20mシャトルラン，反復横とびは向上している学年が多い。 ・ボール投げは低下している学年が多い。
	中学校男子	・反復横とび，20mシャトルランは向上している学年が多い。 ・握力，立ち幅とび，50m走は全ての学年で低下している。
	中学校女子	・上体起こしは全ての学年で向上している。 ・握力，ボール投げ，50m走は全ての学年で低下している。
	全 体	・小6男女は全ての種目が低下している。 ・校種，学年，性別によって向上したり，低下したりしている種目がある。

【震災前後の結果比較の概要等】

向上傾向種目	上体起こし，反復横とび，20mシャトルラン，50m走
低下傾向種目	握力，ボール投げ
沿岸地域概要	・校種，学年，性別によって向上または低下している種目がある。
まとめ	・学年，男女によりそれぞれ向上した種目や低下した種目が見られる状況である。 ・震災による明らかな低下は認められず，その影響については不明である。